

Kakapo, the Living Witness
(生き証人、カカポ)

P.66**【Words】**

kakapo	〔名詞〕	カカポ(ニュージーランドに生息するオウム科の鳥)
witness	〔名詞〕	目撃者、証人

P.67

これがどういう種類の生き物か考えてみて欲しい。

第1に、歩くが飛ぶことはできない。

第2に、それは60年も生きることができる。

第3に、それは人間の赤ん坊ほどの大きさがある。重さは約3キロで高さは約60センチある。

答えは赤ん坊のサルではなくオウムである。

その鳥は“カカポ”と呼ばれ、南太平洋のある島国に住んでいる。

この鳥の名前はニュージーランドの原住民であるマオリ族の言葉から来ている。

Kaka はオウムを意味し、そして po は夜という意味である。

その名前が示すとおり、夜に活動する。

【Words】

guess	〔動詞〕	推測する
creature	〔名詞〕	生き物
weigh	〔動詞〕	～の重さである
kilogram	〔名詞〕	キログラム
centimeter	〔名詞〕	センチメートル
the South Pacific	〔固有名詞〕	南太平洋
come from ~	〔熟語〕	～に由来する、～からきている
Maori	〔名詞〕	マオリ人
native	〔形容詞〕	先住の、現地の
New Zealand	〔固有名詞〕	ニュージーランド

Window 1

それでは「マオリ」とはどういう意味か？

「マオリ」とは普通と言う意味である。ヨーロッパ人がニュージーランドへやってくる以前、彼らはこのように自らを呼んだ。2004年の時点において、ニュージーランドの人口は384万人で、7人の1人がマオリ人である。—およそ54万人だ。文化的には、彼らは木彫りといった伝統工芸で有名である。

【QUESTIONS】

1.
〔質問訳〕 その鳥は何と呼ばれていますか？
〔解答例〕 It is called Kakapo.
〔解答訳〕 それはカカポと呼ばれている。

2.
〔質問訳〕 カカポとはどういう意味ですか？
〔解答例〕 "Kaka" means "parrot" and "po" means "night".
〔解答訳〕 「カカポ」は「オウム」、そして「ポ」は「夜」という意味。

【P.68】

暗くなったあと、カカポが森の中を歩き回ったり、木に登ったり、えさを取っているのを見ることが出来る。

木から降りるとき、翼をパラシュートのように使う。

彼らの羽を見てみなさい。

黄色、緑、その他さまざまな色が美しさに磨きをかけている。

ニュージーランドには、国鳥のキウイを含め、他にも飛ばない鳥がいる。

今ではニュージーランドとなっているその島は6,000万年前に誕生した。

それはゴンドワナという巨大な大陸から分離した。

この大陸は南極大陸、南米、ニュージーランドでできていた。

【Words】

wing	〔名詞〕	翼
parachute	〔名詞〕	パラシュート
feather	〔名詞〕	羽根
add to ~	〔熟語〕	~を増す、増加させる
beauty	〔名詞〕	美しさ
including	〔前置詞〕	~を含む

national	〔形容詞〕	国の
kiwi	〔名詞〕	キーウィー
separate	〔動詞〕	分かれる
continent	〔名詞〕	大陸
Gondwanaland	〔固有名詞〕	ゴンドワナ大陸

【QUESTIONS】

3.

〔質問訳〕 これらの鳥はいつ、そしてどのようにその翼を使いますか？

〔解答例〕 **They use their wings just like a parachute when they go down from the trees.**

〔解答訳〕 木から下りるとき、それらはその翼をちょうどパラシュートのようを使う。

PRO-VISION I SAMPLE